

学校再編だより

【香取小学校】
-第1号-



令和元年9月24日発行
香取市教育委員会教育総務課
☎ 0478-50-1220

香取小学校の学校再編について 検討会議を開催します。

香取市教育委員会では、香取小学校・津宮小学校・大倉小学校の学区の保護者の皆さまを対象に、学校再編について意見をお聞きするため、「小学校再編に係る保護者アンケート」を昨年9月に実施し、その結果について、香取小学校において、香取小学校区の保護者の皆さまと意見交換会を本年6月に実施したところです。

（裏面にアンケート結果の抜粋があります。ご覧ください。）

今年度は、保護者アンケート及び意見交換会の結果をもとに「地域の代表」、「保護者の代表」、「学校関係者」で構成した『香取小学校地域検討会議』を設置し、学校再編について検討を始めます。

なお、この会議は傍聴することができます。

日 時 令和元年10月10日(木) 午後7時から

場 所 香取市役所 5階会議室

※会場内のスペースの関係により入場を制限することがございます。あらかじめご了承ください。

小学校再編に係る保護者アンケート 集計結果（香取小学校区抜粋）

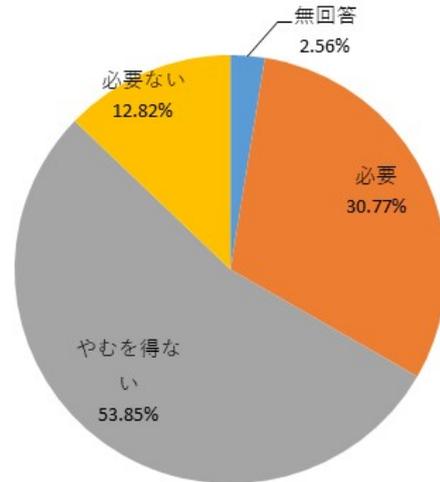
対象：香取小学校区の児童の保護者及び就学前児童生の保護者

期間：平成30年9月5日～平成30年9月26日

回答数：78通 回答率：87.64%

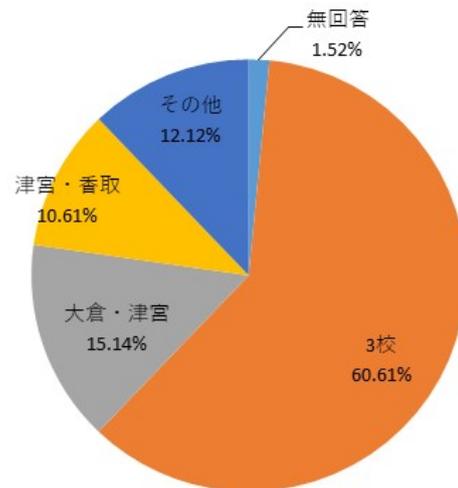
① 教育環境をこれからも維持・向上していくために、学校統合は必要だと思いますか。

| | | 人 | % |
|---|----------------------|----|-------|
| 1 | 統合は必要だと思う(将来の統合も含む)。 | 24 | 30.77 |
| 2 | 統合はやむを得ないと思う。 | 42 | 53.85 |
| 3 | 統合は必要ないと思う。 | 10 | 12.82 |
| 4 | 無回答 | 2 | 2.56 |



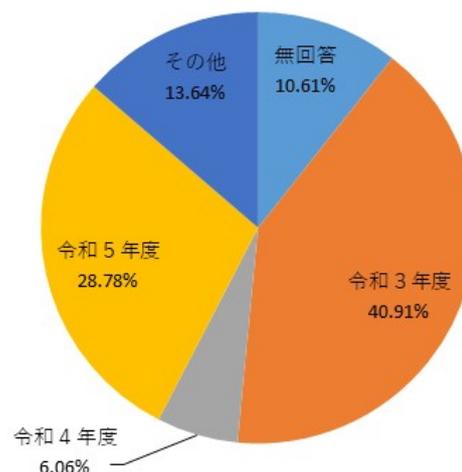
② 統合する場合、どのような統合が望ましいと思いますか。(①で1、または2と回答した人のみ)

| | | 人 | % |
|---|-----------------|----|-------|
| 1 | 3校の統合(香取・津宮・大倉) | 40 | 60.61 |
| 2 | 大倉小学校・津宮小学校の統合 | 10 | 15.14 |
| 3 | 香取小学校・津宮小学校の統合 | 7 | 10.61 |
| 4 | その他 | 8 | 12.12 |
| 5 | 無回答 | 1 | 1.52 |



③ 統合する場合、その時期はいつ頃が望ましいと思いますか。(①で1、または2と回答した人のみ)

| | | 人 | % |
|---|-------|----|-------|
| 1 | 令和3年度 | 27 | 40.91 |
| 2 | 令和4年度 | 4 | 6.06 |
| 3 | 令和5年度 | 19 | 28.78 |
| 4 | その他 | 9 | 13.64 |
| 5 | 無回答 | 7 | 10.61 |



学校再編だより

【香取小学区】
-第2号-



令和元年10月29日発行
香取市教育委員会教育総務課
☎ 0478-50-1220

第1回香取小学校 地域検討会議が開催されました

10月10日（木）午後7時から香取市役所5階会議室において、香取小学校地域検討会議が開催されました。

はじめに、これまでの学校再編の経過や、学校再編の流れについて説明があり、香取小学校再編についての検討を進めるために地域検討会議を設置し、検討を始めることについて承認され、会長・副会長・理事が選任されました。

教育委員会から、香取市における少子化の現状や、小規模校の抱える課題、昨年度実施した保護者アンケートの結果などについて説明がありました。その後行われた意見交換では、指定校変更や放課後児童クラブなどについて質問がありました。



第1回地域検討会議の様子

今後、香取小学校の学校再編について検討を進め、意見をまとめていく事となります。

※皆様のご意見を各区長さんにお寄せください。

第2回香取小学校地域検討会議は下記の日程で開催します。

日時 令和元年11月22日(金) 午後7時から
場所 香取市役所 5階会議室

※この会議は、傍聴することができます。

学校再編だより

【香取小学区】
-第3号-



令和元年12月17日発行
香取市教育委員会教育総務課
☎ 0478-50-1220

第2回 香取小学校地域検討会議が開催されました

11月22日（金）午後7時から香取市役所において、香取小学校地域検討会議が開催されました。

会議では各委員が地域住民から聞き取ってきた意見等について報告があり、それを基に意見交換が行われました。

香取小学校の統合に対しては、様々な意見があった中で、現状の小規模化及び今後の年少人口の減少を鑑みて、やむを得ないとの声が多くありました。



第2回地域検討会議の様子

〈会議で出た主な意見については裏面に記載〉

引き続き、地域の意見を伺いながら、「香取小学校の統合の必要性」について議論を深めていきたいと考えています。

※皆さんのご意見を各区長さんにお寄せください。

第3回香取小学校地域検討会議は下記の日程で開催します。

日時 令和2年1月23日(木) 午後7時から
場所 香取市役所 5階会議室
※この会議は傍聴することができます。

第2回地域検討会議で出た主な意見

会議では様々な意見が取り交わされましたが、委員から出た主な意見は下記のとおりです。

○通学時に交通安全活動で道路に立っているが、子供の数が減ったと実感している。現状の香取小の児童数及び、今後の減少を考えると統合はやむを得ないと考える。

○統合においては、子供たちの安全を一番に考え、自然災害による被害想定を加味して、統合校の位置を決めるべきである。利根川の決壊は考えにくいとしても、越水に関しては想定しておく必要がある。また、地震に関しては、一瞬で命が危険にさらされる可能性もあり、校舎の耐震性はもちろん、その立地の地盤の安定性も考慮すべきだと考える。

○指定校変更による他校への流出を抑えるため、学校環境を整え魅力ある学校にすることが必要である。

○地元に残したいという思いは当然強く持っているが、それは他の小学校においても同じことであり、そこに固執してしまうと話がまとまらず何年も統合が先延ばしになってしまうのではないかと危惧している。伝統とかそういう理由ではなく、立地条件の安全面、通学路の安全面、校舎の状態など、あらゆる条件から総合的に判断して場所を決めていくのが適切だと思う。

○3校で統合しても、10年後15年後にはまた統合が必要になってくるのではないかと。より大きな枠組みで統合してはどうか。

○津宮・大倉の2校で統合したらよいのではないかと。香取小では、香取神宮と連携した学校行事も行われており、残していくべきである。

学校再編だより

【香取小学区】
-第4号-



令和2年2月12日発行
香取市教育委員会教育総務課
☎ 0478-50-1220

第3回 香取小学校地域検討会議が開催されました

1月23日（木）午後7時から香取市役所5階会議室において、第3回香取小学校地域検討会議が開催されました。



第3回地域検討会議の様子

会議では、香取小学校における統合の必要性に関して、前回に引き続き意見交換が行われました。

小学校は地域の核である為、なくしてしまったら、地域が衰退してしまうのではと心配する声がある一方で、子どもたちの教育環境を考え、統合すべきとの意見もありました。

〈会議で出た主な意見については裏面に記載〉

次回の会議にて「香取小学校の統合の必要性」に関して、この地域検討会議としての意見をまとめていく予定です。

※皆さんのご意見を各区長さんにお寄せください。

第4回香取小学校地域検討会議は下記の日程で開催します。

日時 令和2年3月5日(木) 午後7時から
場所 香取市役所 4階会議室
※この会議は傍聴することができます。

第3回地域検討会議で出た主な意見

会議では様々な意見が取り交わされましたが、委員から出た主な意見は下記のとおりです。

○小学校は地域の核であり、地域から小学校をなくしてしまったら、その地域に新しく移り住んでくる人はいなくなる。そうなると、人口は減る一方であり、地域は衰退していってしまう。

○一番に考えるべきは、子どもたちの教育が、ちゃんも行われるかどうかという点だと思う。人数が少ないと、学習において様々な制約が生じ、また男女比の偏りも顕著にあらわれやすくなる。ドッジボールもリレーもできないような環境下で育つことが、子どもたちにとって幸せかどうかを考えるべきだ。

○今回の3校での統合プランは二度手間という感じがしてならない。栗源や山田、東庄の例から見ても最終的な終着点としては、1つの町単位でまとまっていくのかなと思っている。この3校での統合案も、その場しのぎの統合プランではないか。

○県内には、1学年の児童数が5～6人というような学校が他にも多くある。そこでは様々な工夫をもって教育がなされているのだと思う。そう考えると、香取小も津宮小も大倉小も、もう少し頑張っていけるのではないか。

○平成30年実施の保護者アンケートの結果では、香取小学校の統合について「賛成」ないしは「やむを得ない」と答えている人がほとんどである。当事者である現役の保護者の意見こそ優先すべきではないか。

○再統合の心配については、またその時話し合えばいいことである。現状を見て、統合が必要かどうか判断すべきである。

学校再編だより

【香取小学区】
-第5号-



令和2年7月17日発行
香取市教育委員会教育総務課
☎ 0478-50-1220

香取小学校地域検討会議の意向まとまる 「子どもたちのことを最優先に考え統合に賛成」 との意見が多数を占める

新型コロナウイルスの影響により延期となっていた香取小学校地域検討会議ですが、感染拡大防止のための可能な対策が講じられたうえで、7月2日（木）午後7時から香取市役所5階会議室にて開催されました。

会議では、香取小学校が統合すべきかどうかについて、出席委員による無記名投票が行われ、その投票結果をもって、下記のとおり意見が取りまとめられました。



第4回地域検討会議の様子

香取小学校地域検討会議としては児童数の減少により香取小学校が統合するのは誠に惜しまれますが、将来の香取市を担う子どもたちのことを最優先に考え、よりよい教育環境で学ばせるためにも統合すべきとの意見が多数を占めた。

【投票結果】 香取小学校の統合について

賛成－9票 やむを得ない－6票 時期尚早－1票 反対－4票

未選択（保留）－1票 （校長、教頭を除く出席委員21名により投票）



理事会の様子

その後、7月14日（火）に理事会が開催され、これまでの検討内容をまとめた検討結果報告書の作成が行われ、教育委員会へ報告書が提出されました。（裏面に報告書の抜粋版を掲載）

今年度は香取・津宮・大倉・各校の代表者からなる代表者会議を設置し、学校名、統合校の位置、統合の時期、校歌、校章など、基本的事項についての検討が行われます。

裏面へ

香取市立香取小学校地域検討会議 検討結果報告書（抜粋版）

〈検討結果〉

教育委員会が提案する「香取小学校が統合すること」について、小学校は明治22年の創立以来、地域と共に歩んできた歴史と伝統があり、また地域のシンボルでもあることから閉校となることは非常に惜まれる。

しかし、人口減少、少子化の影響により、このまま児童数が減少し続けると、児童の学ぶ小学校として適正な教育環境を維持することが困難となることが予想される。香取小学校地域検討会議としては、将来を担う子どもたちのことを最優先に考え、よりよい教育環境で学ばせるためにも統合すべきとの意見が多数を占めた為、教育委員会の提案を受け入れることとする。

なお、教育委員会は、統合に伴い保護者が心配している事項の解消、各校の児童・保護者の一体感の醸成を図り、学校の統合が順調になされるように尽力されたい。

〈検討協議の概要〉

平成30年9月に香取・津宮・大倉の3小学校の再編について、保護者の意向を確認するため、3小学校の保護者及びその地区の就学前児童の保護者を対象としたアンケート調査が実施された。

香取地区のアンケート結果に関して、香取小学校の統合の必要性については、「必要」が30.77%、「やむを得ない」が53.85%、「必要ない」が12.82%であった。統合先については、「3校統合」が60.61%と一番多く、統合の時期については「令和3年度」が40.91%と一番多かった。

本アンケート結果を基に令和元年6月に香取小学校保護者との意見交換会が開催されたが、その場では保護者の意見はまともらず、その後保護者独自で実施したアンケートの結果を受け、地域検討会議を設置して香取小学校の統合に向けて議論を進めていくことが了承された。これに伴い、教育委員会からの要請により、地域の意向を集約するため、「香取小学校地域検討会議」が設置された。

香取小学校の児童数は令和2年7月現在70名で、複式学級の編成基準に該当する学年があるものの、増置教員を担任に充てることで複式学級を解消している状況である。教育委員会の推計では令和8年度までの児童数はほぼ横ばいで推移しているものの、香取小学区においては指定校変更をして周辺校へ通う児童が毎年一定数おり、それを加味すると減少傾向となることが予想される。

地域検討会議では、学校がなくなることによる地域の衰退を不安視する意見がある一方で、児童数が減り続けていくことにより教育上様々な制約が生じ、適切な教育環境を維持できなくなるのではないかと危惧する意見もあった。学校の小規模化においては極端な男女比の学級が生じる懸念もあり、人間関係の固定化や社会性が育まれにくくなる等の問題もあり、少なくとも1学級20人程度の規模を確保することが望ましいと考える。また、再統合の心配がないように、より大きな枠での統合を望むとの声もあった。

この他にも様々な意見があったなかで、無記名投票により意見の取りまとめを行った結果、将来を担う子どもたちのことを最優先に考え、よりよい教育環境で学ばせるためにも、香取小学校は統合すべきとの意見が多数を占め、教育委員会の提案を受け入れることとなった。

統合校の位置については、自然災害による被害や通学路の安全性等を考慮し、子どもたちのことを第一に考え、客観的かつ明確な判断基準をもって決められるよう配慮いただきたい。また、3校統合の枠に捉われることなく、広い視野をもって代表者会議での検討を行っていただきたい。